

2019年6月30日

第21期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急ハロートッグ

貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	266,199	(負債の部)	483,716
流動資産	133,092	流動負債	256,191
現金及び預金	680	買掛金	25,049
売掛金	46,085	短期借入金	172,655
商品	71,400	一年内返済予定長期借入金	25,475
貯蔵品	3,584	未払金	11,453
前渡金	12	未払費用	1,746
前払費用	5,977	未払事業所税	318
その他の資産	5,290	未払法人税等	572
仮出金	225	未払消費税等	7,919
貸倒引当金	△165	預り金	741
		賞与引当金	5,634
		役員賞与引当金	4,608
		その他流動負債	18
固定資産	133,107	固定負債	227,525
有形固定資産	113,285	長期借入金	227,525
建物附属設備	87,908		
器具及び備品	25,377	(純資産の部)	△217,516
		株主資本	△217,516
無形固定資産	6,530	資本金	10,000
ソフトウェア	5,516	資本剰余金	34,818
施設利用権	1,013	その他資本剰余金	34,818
		利益剰余金	△262,335
投資その他の資産	13,291	その他利益剰余金	△262,335
投資有価証券	0	繰越利益剰余金	△262,335
差入保証金	13,286		
長期前払費用	4		
合 計	266,199	合 計	266,199

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。
2. 資産の評価基準及び評価方法
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 その他有価証券
 時価のないもの 移動平均法による原価法
 - (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
 通常の販売目的で保有するたな卸資産
 評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）

商品	総平均法
貯蔵品	個別法
3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
無形固定資産	定額法
4. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましては、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましては、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。
賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
役員賞与引当金	役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
 消費税等の会計処理 税抜方式によっております。

当期純損益金額

当期純損失	74,776千円
-------	----------